

校長より② 令和2年3月10日

「一生役立つ力を身に付けよう」

臨時休校も2週目に入りました。前は学習のことについて書きましたが、この期間に単に学習だけではなく自分の将来を思い描き、いろいろと思案を巡らせてほしいと願っております。

学校の方は、月曜日から入試となりました。昨日学力検査、本日面接を行いました。皆さんの後輩になる人たちがたくさん受検してくれました。本校に入りたいと思ってくれている人たちです。皆さんはこのときからそれぞれ一年、二年の時間が経過しています。精神的にもかなり成長していると感じることがありました。それは、今回の卒業式、終業式、臨時休校と続いた一連の予想がつかない流れの中でも、デマに惑わされず落ち着いて行動してくれた点です。この期間があとどのくらい続くのかまだはっきりはしませんが、「明るく元気に、一生懸命」な生活を過ごしてください。

さて、皆さんは学業と部活動を両立させ、大学進学を目指していますが、『最後の早慶戦』という物語を御存知でしょうか。昭和18年、早慶戦で有名な早稲田大学と慶応大学の野球部員たちにも学徒出陣の令がくだります。戦場に赴く学生のためにと開催されたのが、世に言われる「最後の早慶戦」です。試合開催にこぎつけるまで奔走した慶應義塾大学塾長の小泉信三先生は大変な勉強家で、いくつかの名言を残されています。その一つが「すぐ役立つことは、すぐ役立たなくなる」という言葉です。精神的に成長するためには、一見無用と感じられるより幅広い学びを、着実に時間をかけてやる必要があるという意味です。そのためにもこの期間を存分に使ってほしいと思います。

勉強にしても部活動にしても日々の努力がすぐに成果として現れることはあまりありませんが、生涯にわたり大きな力となることを信じて継続してみてください。



3月10日（火） 校長 坪井基紀